

## アスパラガスの半促成栽培における保温開始時期の違いが収量性に及ぼす影響

野口敏治・平山俊一・\*乙部逸夫(大分県農業技術センター・\*大分県営農指導課)

Toshiharu NOGUCHI, Syun-ichi HIRAYAMA and Itsuo OTOBE: Effect of Start of Semi-forcing Culture on Yields of Asparagus

西南暖地のアスパラガスは茎枯病予防のために雨よけ栽培として導入されたが、施設をより有効に利用するため2月から保温を行う半促成栽培として定着している。降雪の少ない西南暖地では作期の拡大を図るために保温開始時期を早めることが可能であると考えられることから、演者らは保温開始時期の違いがアスパラガスの収量性に及ぼす影響について検討したので処理2年目の結果を中心に報告する。

## 1. 材料及び方法

‘ポールトム’を供試品種として1985年4月24日に播種し、開花調査で雌株を除去した株を翌年4月3日に小型パイプハウス(間口2.5m, 棟高1.8m, 長さ12m)に畦幅125cm, 株間20cmで定植した。1年間株養成して1987年12月23日, 1988年1月12日, 2月4日に被覆し, 2重トンネル+マルチ+水封マルチにより保温を開始し, 54日間収穫を行った。さらにそれぞれの保温開始区に対して1988年12月16日, 1989年1月20日, 2月14日に前年と同じ方法で保温を開始し, 60日間収穫調査を行った。調査株数は各区60株とし, 毎日27cm以上の若茎を収穫し25cmに切って調査した。

## 2. 結果及び考察

保温開始から収穫開始までの期間は, 12月保温開始区では2か年とも12日, 1月保温開始区では1988年が10日, 1989年が14日, 2月保温開始区では1988年が12日で1989年は10日であった。2か年を通して保温開始時期の早晚に関係なく保温開始後10~14日程度で収穫が始まると考

えられた。

収穫開始後の旬別収穫本数は各区とも第1旬に比べ第2旬になると増加した。12月保温開始区は第2旬以降収穫本数の増減はあるものの各旬とも第1旬より多かったが, 1月及び2月保温開始区は第2旬以降増減し第6旬になると収穫本数は第1旬より低下した。このことは収量についても同様であった。

平均1茎重は収穫期間を通じて12月保温開始区が13.1g/本で最も大きく, 次いで2月, 1月保温開始区の順であった。調査期間中12月及び1月保温開始区は平均1茎重の変化が小さく, 収穫開始時と調査終了時では差がなかった。2月保温開始区は第1旬には15.3g/本であったが, 徐々に小さくなり第6旬には11.3g/本となった。

頂部の開張率(本数%)は保温開始時期が遅くなるほど高くなり, さらに収穫開始後の日数が経過するにしたがって高くなった。1月及び2月保温開始区は第5・6旬になると頂部開張率は50%以上となった。

収量は12月保温開始区が23.2Kg/a, 1月保温開始区が25.9Kg/a, 2月保温開始区が58.8Kg/aで2月保温開始区が最も多かった。

以上のことから, 保温開始から収穫開始までの期間は保温開始時期に関係なくほぼ一定であり, 保温開始が遅くなるほど頂部開張率は高くなるが, 収量は増加するため半促成栽培では2月保温開始が適当と思われ, この場合頂部の開張しない様な管理が必要である。

第1表 保温開始時期の違いによる収量性の旬別変化

保温開始	収量及び品質	収穫開始後の旬						計
		1	2	3	4	5	6	
12月16日	収量 (Kg/a)	2.2	4.4	3.9	4.9	3.1	4.7	23.2
	収穫本数 (本/a)	167	334	307	340	267	354	1769
	頂部開張率 (本数%)	0	2	2	4	5	11	4
	平均1茎重 (g/本)	13.1	13.3	12.6	14.4	11.5	13.3	13.1
1月20日	収量 (Kg/a)	3.2	6.2	4.9	5.4	3.2	3.0	25.9
	収穫本数 (本/a)	280	540	454	494	307	267	2342
	頂部開張率 (本数%)	5	17	22	32	52	50	28
	平均1茎重 (g/本)	11.3	11.6	10.8	10.9	10.5	11.3	11.1
2月14日	収量 (Kg/a)	12.3	13.6	8.4	6.7	10.5	5.3	56.8
	収穫本数 (本/a)	807	1047	634	580	820	467	4355
	頂部開張率 (本数%)	19	27	27	26	55	50	33
	平均1茎重 (g/本)	15.3	13.0	13.3	11.5	12.9	11.3	13.0